

1.麻疹

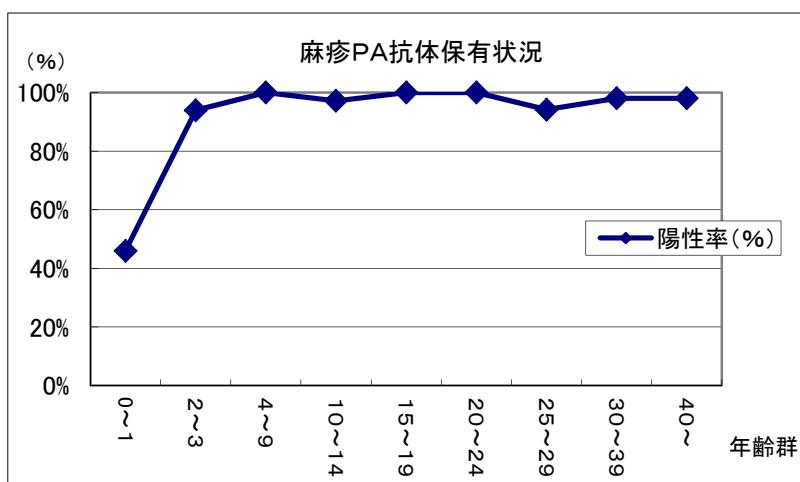
1) 検体数

年齢群	0～1	2～3	4～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～39	40～	合計
検体数	37	33	36	35	22	24	34	50	100	371

麻疹抗体は371検体について麻疹PA抗体価を測定した。

2) 麻疹PA抗体保有状況(%:PA価16倍以上陽性)

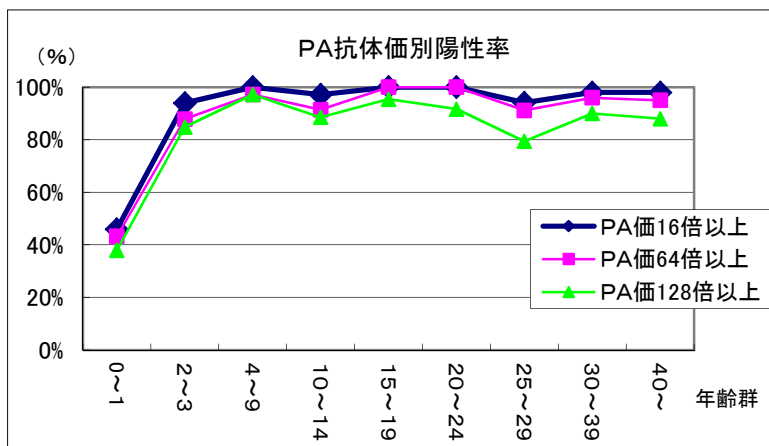
年齢群	0～1	2～3	4～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～39	40～
陽性率(%)	45.9%	93.9%	100.0%	97.1%	100.0%	100.0%	94.1%	98.0%	98.0%



麻疹抗体保有状況は、2歳以上の年齢群で90%以上を示した。予防接種の効果によるものと考えられ、今後も予防接種事業が維持されていくことが重要である。

3) 麻疹PA抗体価別陽性率(%)

年齢群	0～1	2～3	4～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～39	40～
PA価16倍以上	45.9%	93.9%	100.0%	97.1%	100.0%	100.0%	94.1%	98.0%	98.0%
PA価64倍以上	43.2%	87.9%	97.2%	91.4%	100.0%	100.0%	91.2%	96.0%	95.0%
PA価128倍以上	37.8%	84.8%	97.2%	88.6%	95.5%	91.7%	79.4%	90.0%	88.0%



抗体価別で見ると、20～24歳でのPA128倍以上は91.7%で昨年度(33.3%)より大幅に増加している。これは、ワクチン追加接種の効果によるものと考えられる。

2.風疹

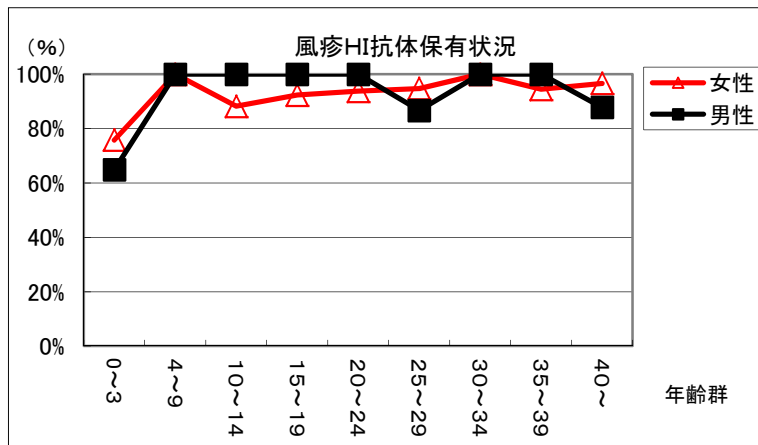
1)検体数

年齢群	0～3	4～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～	合計
女性	33	20	17	13	16	19	17	18	59	212
男性	37	16	18	9	8	15	8	7	41	159
合計	70	36	35	22	24	34	25	25	100	371

風疹は371検体について風疹HI抗体価を測定した。

2)風疹HI抗体保有状況(%:HI価8倍以上陽性)

年齢群	0～3	4～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～
女性	75.8%	100.0%	88.2%	92.3%	93.8%	94.7%	100.0%	94.4%	96.6%
男性	64.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	86.7%	100.0%	100.0%	87.8%



風疹抗体保有率は、男女ともに4歳以上の年齢群で85%以上を示したが、10代から20代において男性と比べて女性の抗体保有率が低い値であることには注意が必要である。2008年4月1日から5年間の期限付きで、麻疹・風疹については中学1年生相当年齢と高校3年生相当年齢が定期予防接種対象となっており、この予防接種を受けるようにすることが、今後の予防接種事業を推進していく上で重要であると思われる。

3.日本脳炎

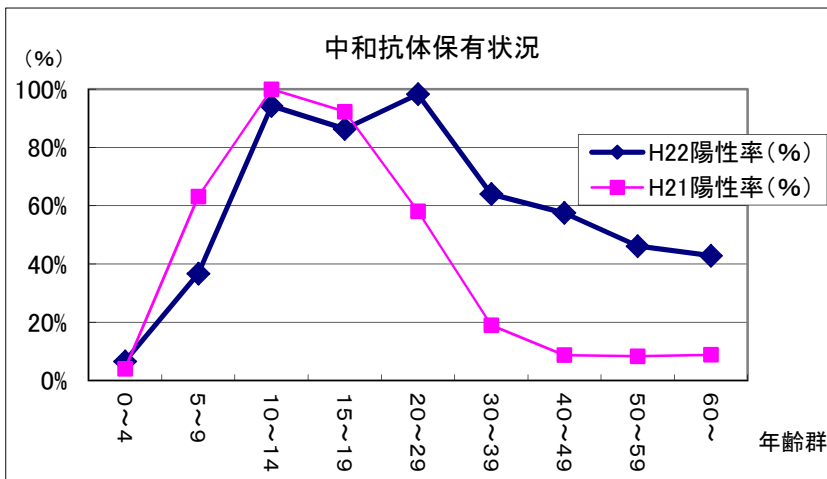
1)検体数

年齢群	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
検体数	76	30	35	22	58	50	40	39	21	371

日本脳炎抗体は371検体について中和抗体価を測定した。

2)日本脳炎中和抗体保有状況(%:中和抗体価10倍以上陽性)

年齢群	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～
H22陽性率(%)	6.6%	36.7%	94.3%	86.4%	98.3%	64.0%	57.5%	46.2%	42.9%



日本脳炎抗体保有状況は、昨年度の調査と比較すると20歳以上で高い陽性率を示した。これらの年代の検体は、昨年度は宮古島を中心に集めたのに対し、今年度は沖縄本島において集めることが関係するのかもしれない。また、5～9歳の陽性数が少ないのは接種勧奨中止時期と重なった影響もあると考えられ、2009年から接種が可能となった新しい日本脳炎ワクチンによる感染予防対策が重要であると思われる。